

第66回埼玉県美術展覧会審査評

【第3部 彫刻】

審査主任 寺山 三佳^{てらやま みか}

第66回県展彫刻部は出品数、入選数共に昨年を上回る数となりました。彫刻としての空間表現や量感、構成力や構築力表現もさることながら、意欲的、実験的な試みも見受けられる応募で、大変厳しい審査となりました。

受賞作品には抽象・具象、あるいは素材のいかんにかかわらず、その作品の発想、技術を加味し意欲的で力を感じさせる作品を選びました。

入選された方、受賞された方、今回は残念ながら落選された方も含め、次の作品に大きな期待を寄せたいと思います。

・埼玉県知事賞

「雅趣」^{がしゆ} 鈴木^{すずき} 亮翔^{りょうか}

御影石を素材とし、直方体のコンポジションで構成された作品。

石から想像させる素材の持つ重量感を、構成された空間や表面のテクスチャで、軽やかさをも感じさせる作品となっています。素材の良さや面白さを研究しようとしている試みも評価しました。

・埼玉県議会議長賞

「Blue Rose」^{ブルーローズ} 阿部^{あべ} 昌義^{まさよし}

憂いをおびた独特な世界観が、素材である陶のもつ冷たさと軟らかさ、シックな色使いの着色、ヨーロッパの胸像をイメージさせるポーズなど様々な要素で表現されています。作者の長い制作経験を感じさせ、技法がしっかりした作品と評価しました。

・埼玉県教育委員会教育長賞

「豊作を祝う」^{ほうさく いわ} 清水^{しみず} 啓一郎^{けいちろう}

確かな技術に裏付けられた存在感のある作品です。リンゴと猫のフォルム

のバランスや量感、台座の処理などに一体感があり好感のもてる作品となっています。リンゴと猫のありえない関係に作者の意図を感じます。

・埼玉県美術家協会賞

「母と子」 はは こ 吉田 よしだ 忠文 ただぶみ

いちょうの木の一木でつくられた意欲的な作品です。子どもを抱いた手の表情から母と子のぬくもりを感じさせています。部分部分の表現の密度が異なるため、全体的な作品としてのまとまり感が弱く、量感の表現には課題が残りますが、これからの課題として楽しみながらチャレンジしてもらいたいと思います。

・埼玉県美術家協会賞

「睨面子」 にらめっこ 藤森 ふじもり 美帆 みほ

昔の妖怪を思わせる人物を主人公とした物語性を感じる作品となっています。作品を構成する江戸風小物も丁寧に作られています。鏡に何を映し出したかったのか、誰と睨めっこしているのか、鑑賞する側の想像を膨らませる楽しい作品となっている点を評価しました。作品作りのうまさは感じられるものの、説明的な表現が彫刻としての存在感の面白さを少し軽減させていると思います。構想の具現化の詰めを課題として制作を続けてもらいたいと思います。

・テレビ埼玉賞

「刹那」 せつな 森下 もりした 聖大 まさひろ

大きな頭像をダイナミックに彫りこんだ朴とつな作品。とにかく大きくて、木割れもものともしない作風に若さを感じました。頭部と鉄台とのつながりに課題が残ると思いますが、次回作が楽しみです。

・埼玉県美術家協会会長賞

「『ホッ』！」 いそ 磯 ひろこ 廣子

乾漆のもつ素朴な肌合いが、ポーズ、フォルムとうまく調和した好感の

持てる作品です。特に塊感のある上半身と座って伸ばした足のフォルムが古代エジプト彫刻のもつ力強さをも連想させます。数年、作者が取り組んでいる乾漆を用いた制作スタイルが確立されたように思います。

・高田誠記念賞

「^{くんぷう}薫風^{いしづか}のとき」 ^{いくえ}石塚 郁江

丁寧に作り上げられた好感が持てる作品です。目を伏せ静かに佇む姿に精神性を感じさせる秀作となっています。立像人体のもつ強さを研究することでさらに存在感を増す作品となるように思われます。これからも充実した制作を期待したいと思います。